

みんななかよく



夏休みまであと1か月

気温が高い日もありますが、天気予報を見ると、まだまだ梅雨の季節だと感じられます。「今日はプールに入れるかな」と天気を心配する子どもたちは、プールに入れるようにと願いを込め、てるてる坊主を作り、窓に貼り付けました。

いつもより2か月遅く始まった授業に、子どもたちは一生懸命取り組み、休業中の課題でプリントを読んでも分かりにくいとメモしていたところも、授業を聞いてできるようになっている様子にうれしくなります。6月初旬に採取したモンシロチョウの卵は、教室で子どもたちが観察し、まもなく羽化しそうなところまで成長しました。一緒に学習できるありがたさを感じています。

夏休みの始まりまであと1か月です。学校生活に心身ともに慣れてきたところですので、疲れや気のゆるみが出ることもあると思います。子どもたちの様子を見ながら、学校生活をサポートしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



今月の行事予定



1 水 安全点検	22 水 登校指導 特5日課
6 月 SC瀧先生来校	学年スクスク
7 火 歯科検診 9:30	教室フックスがけ
13 月 清掃強化週間1①	23 木 海の日
15 水 授業参観・学級懇談会・PTA各部会 特5日課	24 金 スポーツの日
16 木 アルミ缶・ペットボトルキャップ回収	27 月 三者懇談① 特5日課 SC瀧先生来校
17 金 清掃強化週間1②	28 火 三者懇談② 特5日課
農園活動(除草)	29 水 三者懇談③ 特5日課
20 月 清掃強化週間1③	30 木 三者懇談④ 特5日課
21 火 地域学校園SC 澤村先生来校	31 金 特5日課 三者懇談 予備日 夏休み前集会(朝校庭にて実施予定)

学習予定

国語 調べて書こう、わたしのレポート
はりねずみと金貨
社会 店ではたらく人の仕事
算数 たし算とひき算
わり算
理科 風とゴムの力のはたらき
こん虫のかんさつ
音楽 リコーダーとなかよしになろう

図工 つかったたのしいカラフルねん土
ねん土ランドへようこそ
体育 ネット型ゲーム
水泳運動
総合 様々な自然災害から身の守り方を考えよう
外国語 How are you?
How many?
会話 百人一首
道徳 友情、信頼 規則の尊重

お知らせとお願い

1 夏休みの課題について

今年度の国語及び図画工作の作品募集は『できれば取り組む課題』になります。下野教育書道展に出品希望の方は、専用用紙が必要となりますので、7月10日（金）までに『下野書道申込袋』を提出して下さい。また、夏休みの課題の詳細については、学年だより夏休み号でお知らせいたします。

2 三者懇談について

27日（月）・28日（火）・29日（水）・30日（木）の4日間、三者懇談になります。後日、日程をお知らせいたします。ぜひ、三者懇談前に、ご家庭でも学校生活に関する話題を話し合ってみてください。

3 夏休み前の学用品の持ち帰りについて

夏休み前に、次の物を持ち帰ります。点検、補充をして、また夏休み明けに持たせてください。

- ・鍵盤ハーモニカ ・絵の具セット ・習字セット（筆のよごれを洗う）
- ・お道具箱 ・リコーダー ・ハウセンカやマリーゴールドの鉢 など

※ ハウセンカやマリーゴールドは、「植物の一生」の学習で、花の観察、種のでき方の観察などをした後、枯れるまで観察が続きますので、夏休み中の観察と水やりを忘れないようにしてください。よろしくお願いします。

心の広場 Heart Communication



6月5日、天気も良かったので、理科で校庭の生き物の観察をしました。アリ、ダンゴムシ、ハチ（死骸）などをそれぞれ観察していると、

「先生！カマキリの赤ちゃんがいっぱい！」

呼ばれて体育館前の植木のところを見ると、何十匹ものカマキリの赤ちゃんがいました。色はまだ白く、大きさも2cmあるかどうか。すぐに校庭のあちこちで観察している子どもたちに声をかけ、全員で観察しました。カマキリ自体は見たことがあっても、こんなに小さいカマキリの大群をみるのは初めてだったようです。教科書で見るカマキリの写真とは比べ物にならないくらい良い体験になっていると思います。

自信をもって意欲的な生活を送るために・・・

子どもは自分自身が認められていると感じると安心感が高まり、自信がより育っていきます。自信をもった子どもは、意欲的に課題解決や目標達成に取り組みます。また、自分が認められるという経験は、周りの人のよさや違いを認め、よりよい人間関係作りにも生かされます。

「テストの成績が良かった」、「試合や行事で活躍した」など成果や活躍に焦点を当てるだけではなく、日々の努力や成長に焦点を当て、声をかけてください。

また、存在そのものに焦点を当て、一人一人がかけがえのない存在であることが伝わるような接し方をしていただきたいと思います。具体的には、会話の時間を多くする、顔を見てうなずきながら聞く、あいさつをする、発達段階に応じて頭を撫でてあげたり、抱きしめたり・・・。家庭と学校、それぞれでお子さんを認めていき、自信を育んでいきたいと思います。